いしのまき

No.32 議会だより

平成24年11月13日発行

第3回定例会　平成23年度決算を審査 … 2

各常任委員会審査報告 …… 4

20人が一般質問で市政を問う …… 8

特別委員会活動報告 …… 17

議会トピック …… 19

北村保育所　秋の芋ほりから

第３回定例会

条例や補正予算など24件可決、１件継続審査

平成23年度一般会計決算は不認定

平成24年第３回定例会は、９月６日から26日までの21日間の日程で開催されました。

今定例会では、平成23年度石巻市一般会計などの決算認定２件、条例や補正予算など市長提出議案22件、委員会提出議案２件、計26件の議案が提出されました。審議の結果、平成23年度石巻市一般会計決算については不認定となり、また、平成24年度石巻市病院事業会計補正予算（第２号）については、閉会中の継続審査となりました。

なお、このほかの提出議案等は原案のとおり可決、認定されました。

▶本会議での決算認定起立採決の様子

平成23年度一般会計決算は不認定
～震災がれきの不適切な会計処理で～

平成23年度石巻市一般会計および各種特別会計決算認定については、各所管の常任委員会にそれぞれ分割付託され審査が行われました。審査の結果、各種特別会計決算については全委員会において認定でありましたが、一般会計決算については、環境教育委員会で不認定となりました。

二十六日の本会議の審議においても、不明瞭な会計処理で議会から指摘があったにもかかわらず、市長は疑惑を否定して解明を拒否したなどの討論があり、起立採決の結果、反対二十四、賛成六で不認定となりました。

※決算認定とは？

議会が、歳入歳出予算の執行の実績である決算について、その内容を審査した上で、収入・支出が適法かつ正当に行われたかを確認すること。

決算を認定しなかった場合は、既に行われた予算の執行効力に影響はないものの、（市）長の政治的、道義的責任が問われるものと解されます。

第３回定例会に提出された議案と審議結果

決算（一般会計は不認定・特別会計は認定）

・平成23年度石巻市一般会計および各種特別会計決算認定

（認定）

・平成23年度石巻市病院事業会計決算認定

条例（原案可決）

・石巻市特別会計条例の一部を改正する条例
・石巻市立学校設置条例の一部を改正する条例
・石巻市防災会議条例の一部を改正する条例
・石巻市災害対策本部条例の一部を改正する条例

人事（異議がない）

・人権擁護委員候補者を推薦するにつき意見を求めることについて

予算（原案可決）

・平成24年度石巻市市街地開発事業特別会計予算
・平成24年度石巻市一般会計補正予算（第４号）（第５号）
・平成24年度石巻市水産物地方卸売市場事業特別会計補正予算（第２号）
・平成24年度石巻市下水道事業特別会計補正予算（第２号）
・平成24年度石巻市浄化槽整備事業特別会計補正予算（第２号）
・平成24年度石巻市国民健康保険事業特別会計補正予算（第１号）（第２号）
・平成24年度石巻市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）
・平成24年度石巻市介護保険事業特別会計補正予算（第３号）（第４号）

（継続審査）

・平成24年度石巻市病院事業会計補正予算（第２号）

その他（原案可決）

・宮城県後期高齢者医療広域連合規約の変更について
・公の施設の利用に関する協議について
・財産の取得について
・工事請負の契約締結について
（23年災水浜分浜漁港水浜北防波堤ほか災害復旧工事など他４件）

委員会（原案可決）

・地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書
・市長の専決処分事項の指定についての一部改正

第3回定例会で議決した議案の中から

可決された条例の中から

◆石巻市立学校設置条例の一部を改正する条例

〇平成24年２月に策定した石巻市立高等学校統合事業基本計画に基づき、平成27年４月に現在の市立高等学校２校を統合し、市立女子高等学校の校舎を利用しての統合校を新設するにあたり、教育委員会において本年８月に校名を選定した結果「石巻市立桜坂高等学校」と決定したことから、本条例の一部を改正するもの。

その他の議案の中から

◆財産の取得について

〇東日本大震災により住宅を失った市民に対し、安全・安心で快適な住まいとして、災害公営住宅を早期に供給するため、事業用地取得について協議が各々の所有者との間で整ったことから、議会の議決を求めたもの。

取得財産：（仮称）石巻市黄金浜地区災害公営住宅整備（その２）事業地

取得金額：128,259,000円

可決された補正予算のおもな中身は

第３回目の配分可能額通知のあった「東日本大震災復興交付金」や県の交付金等により、新たに事業化する復興事業として、水産加工業施設の再生に対する支援補助金をはじめ、施設園芸農業の早期復興を図るための生産施設等の整備に要する経費、「総合福祉会館みなと荘」および「湊こども園」の移転新築事業費、鮎川漁港荷捌き所整備費などを措置したほか、厚生労働、農林水産、教育施設等に係る災害復旧費経費などについて、所要額を措置したもの。

◆総務費では
- 災害派遣職員の増員に伴う関係費の増額
- 被災した集会所の改修等に対する補助金など

◆民生費では
- 民間保育所の整備に対する補助金
- 長面地区の遺体捜索を集中的に実施するための経費
- 応急仮設住宅等のひとり暮らし高齢者世帯への緊急通報システムの設置等に要する経費など

◆衛生費では
- インフルエンザ予防接種に対する助成金など

◆労働費では
- 被災企業販路開拓支援事業等に要する経費など

◆農林水産業費では
- 水産加工業施設、水産業共同利用施設等の整備に対する支援と石巻漁港多機能施設事業化可能性調査等に要する経費など

◆商工費では
- 石ノ森萬画館施設開館後の指定管理に要する経費など

◆土木費では
- 屋敷浜猪落線の道路改良に要する経費など

◆消防費では
- 石巻港湾合同庁舎への防災備蓄倉庫整備及び田代島へのヘリポート整備に要する経費など

◆教育費では
- 湊小学校、湊中学校、渡波小学校再建事業費
- 特別支援教育共同実習所の建替えに要する経費など

◆災害復旧費
- 小、中学校の校舎及び屋内運動場等の災害復旧に要する経費など

市立病院建設予算は閉会中の継続審査に

市立病院基本設計・実施設計など２億２千万円を盛り込んだ平成24年度石巻市病院事業会計補正予算（第２号）は、審査を行った保健福祉委員会では、市が建設予定地とした石巻駅前駐車場周辺の交通渋滞対策などについて、十分納得できる説明が得られなかったとして、引き続き慎重に審査する必要があることから、閉会中の継続審査とすべきであるとの結論に達し、二十六日の本会議においても、起立採決の結果、賛成多数により閉会中の継続審査となりました。

▶市立病院建設予定地とした石巻駅前駐車場

９月７日の本会議で、決算や条例、補正予算などの議案が審議され、総務企画、環境教育、保健福祉、産業建設の各常任委員会に付託されました。
　各常任委員会で審査されたことの中から、いくつかの質疑と答弁の要旨を紹介します。

各常任委員会での条例・補正予算審査

総務企画委員会

マンパワー不足について

Q 支援職員の現状と今後は。

A 現在、本市では42団体から66名の支援職員の協力をいただき復興業務に当たっている。本市に限らず、沿岸部の被災市町村はいずれもまだ職員不足の状況にあることから、宮城県が中心となって、被災自治体による連絡会議を組織し、全国の自治体に対し、新規職員派遣や派遣継続についてお願いしている。これまでに京都府や三重県、千葉市等から新たな職員支援について申し出が来ており、今後約60名の増員を見込んでいる。

環境教育委員会

総合運動公園の復旧状況について

Q 総合運動公園の復旧工事の状況について伺う。

A 総合運動公園では、フットボール場、野球場の外溝、やすらぎ広場の陥没と地割れなど、全体的な復旧工事が必要である。
　また、他の運動公園においては、にっこりサンパークの野球場やテニスコート、追波川河川運動公園の陸上競技場、牡鹿清崎運動公園の多目的グラウンドの復旧工事を進めていく。
　なお、フットボール場、石巻市民球場及びにっこりサンパーク野球場については、来年４月から使用可能となる。

▲全体的な復旧工事が必要な総合運動公園

保健福祉委員会

長面湾の行方不明者の捜索について

Q 長面湾の行方不明者の捜索の現状と今後の予定は。

A 警察、消防、ＮＰＯ、災害ボランティア団体等の支援を受けながら、長面浦、名越海岸、長面地区の一部水田地帯で捜索を継続している。富士川の堤防、県道から長面排水機場まで仮締切道路が復旧できたことに伴い、８月より捜索場所の水田地帯１１０ヘクタールの排水作業を24時間フル回転で行っており、10月からその場所の遺体捜索とガレキ撤去作業を実施したい。

産業建設委員会

石ノ森萬画館の維持管理経費について

Q 被災した石ノ森萬画館の維持管理に係る経費について伺う。

A 震災直後は、再開の見通しが立たないことから、街づくりまんぼうへの指定管理を一時中止し、施設の維持管理業務を年間１、１００万円で委託したが、11月再開の見通しがついた七月をもって施設維持管理業務を終了することとし委託期間を４か月、委託料を約３６５万円に変更した。
　11月の再開に向け、８月から10月まで再開準備に着手することとなり、改めて開設準備業務を１、６８０万円で委託、そして今回、再開後の指定管理料５か月分として２、２００万円を計上したものである。

▲再開準備中の石ノ森萬画館

各常任委員会での決算審査

総務企画委員会

行政区再構築事業について

Q 50戸以下の仮設住宅団地における新たな行政区設置の考え方について伺う。

A 今後、災害復興住宅等が建設され、仮設住宅団地の出入りが多くなると、小さい組織では次の世話人や団地内をまとめてくれる方の選出が難しいという状況もあり、既存町内会への編入を進めている。

しかし、地域の意向により、本庁地区で1組織、河南地区で11組織、北上地区で1組織が、50戸以下ではあるが、それぞれ自治組織を構成している。

▲今後も問われる自治組織のあり方

環境教育委員会

いじめの現状と対応について

Q いじめに対する教育委員会としての対応について伺う。

A いじめの判断基準については、本人がいじめられている気持ちを持った時点でいじめが発生していると判断している。

いじめについては、毎月調査を実施しており、内容としては、冷やかしやからかい、悪口などが多数報告されているが、全て学校において解消されている。

また、学校ではいじめ解消のために子供たちのいじめに対する意識を高め、子供たち自身でいじめを撲滅するさまざまな活動に取り組んでいる。

教育委員会においては、人権擁護委員、大学教授、医師などの外部委員を交えて組織されている、いじめ・生徒指導問題対策委員会で実態把握に努め、関係機関との連携を行っている。

なお、いじめを超えた暴力行為等に対しては、毅然とした態度で臨み、絶対に許さないという姿勢を貫いていく。

ねずみ族・昆虫等駆除費のあり方について

Q 震災後の環境に見合っていない事業の状況と町内会等への薬剤等配布後の実施状況について伺う。

A 酪農学園大学からの情報提供を踏まえながら、震災後の現状を考慮し、これまでの駆除のあり方、薬剤の選定、使用方法等について改めて検討していく。

また、町内会等に配布している駆除用の薬剤について、これまでは実施状況の把握をしていないことから、改めて追跡調査を行い、調査結果を踏まえて効果的な駆除のあり方を検討し、衛生推進員等への認識に向けた指導も行っていく。

保健福祉委員会

心のケア事業について

Q 今年度に入り、不眠やいらいら、無気力等の新規の相談が増えているようだが、今後の対応は。

A 心のケア事業については、からころステーションに委託しているが、市の保健師による健康調査をもとにケアの必要な方を専門家へつなぐといった手配をしていきたい。震災後、1年以上経過したところで、自殺者は増えていくとの報告もあることから、心のケア対策を強化し、予防に努めていきたい。

産業建設委員会

地震による下水道管路の復旧について

Q 地震により甚大な被害を受けた下水道の管路の復旧の遅れについて伺う。

A 災害復旧工事については業者の技術者不足や実勢価格と基準単価の差異による入札の中止や不調が深刻化していることから、地域要件の拡大や手持ち工事制限の緩和、基準単価の見直しなどの対策を講じて、早期に工事着手できるようにしたい。

▲地震により甚大な被害を受けた下水道

第３回定例会
起立採決のあった議案に対する各議員の賛否

議席番号	氏　名	告発の件について	平成23年度石巻市一般会計決算認定について	閉会中の継続審査について平成24年度石巻市病院事業特別会計補正予算（第２号）
1	阿部　久一	○	×	○
2	丹野　　清	○	×	○
3	阿部　純孝	○	×	○
4	黒須　光男	○	×	○
6	髙橋　左文	○	×	○
7	山口荘一郎	○	×	○
8	大森　秀一	○	×	○
10	水澤冨士江	×	○	×
11	阿部欽一郎	○	×	○
12	安倍　太郎	○	×	○
13	遠藤　宏昭	○	×	○
14	千田　直人	○	×	○
15	櫻田　誠子	○	×	○
16	渡辺　拓朗	○	×	○
17	千葉　眞良	○	×	○
18	阿部　正敏	○	×	○
19	青山　久栄	○	×	○
20	阿部　和芳	―	―	―
21	西條　正昭	×	○	×
22	庄司　慈明	×	○	×
23	石森　市雄	○	×	○
24	松川　惠一	○	×	○
25	森山　行輝	○	×	○
26	長倉　利一	○	×	○
27	伊藤　啓二	○	×	○
28	堀川　禎則	○	×	○
30	阿部　政昭	○	×	○
31	髙橋　栄一	○	×	○
32	後藤　兼位	×	○	×
33	髙橋　誠志	×	○	×
34	阿部　仁州	×	○	×
賛　成		24	6	24
反　対		6	24	6

※○：賛成、×：反対
※阿部和芳議員は議長であるため採決には加わりません。

意見書

第３回定例会において可決された意見書の内容は、次のとおりです。

地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書

地球温暖化防止のための温室効果ガスの削減は、我が国のみならず地球規模の重要かつ喫緊の課題となっており、森林のもつ地球環境保護、国土の保全、水資源の涵養、自然環境の保持など、森林の公益的機能に対する国民の関心と期待は大きくなっている。

また、わが国は京都議定書において、第１約束期間である平成20年から平成24年までの間に、温室効果ガスを６％削減することが国際的に義務付けられているが、そのうち３・８％を森林吸収量により確保するとしている。

このような中、「地球温暖化対策のための税」が平成24年10月に導入される一方、森林吸収源対策などの地球温暖化対策に関する地方財源確保については、平成24年度税制改正大綱において、「平成25年度実施に向けた成案を得るべく更に検討を進める」とされている。もとより、地球温暖化防止をより確実なものとするためには、森林の整備・保全等の森林吸収源対策や豊富な自然環境が生み出す再生可能エネルギーの活用などの取り組みを、山村地域の市町村が主体的・総合的に実施することが不可欠である。

しかしながら、これらの市町村では、木材価格の暴落・低迷や林業従事者の高齢化、後継者不足など厳しい情勢にあり、森林吸収源対策などの地球温暖化対策に取り組むための恒久的・安定的な財源が大幅に不足している。

よって、左記事項の実現を強く求めるものである。

記

二酸化炭素の吸収源として最も重要な機能を有する森林の整備・保全等を推進する市町村の役割を踏まえ、「地球温暖化対策のための税」の一定割合を、森林面積に応じて譲与する「地方財源を確保・充実する仕組み」を早急に構築すること。

提出された陳情

第３回定例会に提出された陳情は次の３件です。

議員全員へ参考回付しました

■瓦礫の広域処理問題を認識し、日本国内における放射能不拡散を求める陳情

（提出者）
四国がんセンター
医師　城戸　宝紀

■震災瓦礫広域処理に関する陳情

（提出者）
福岡県北九州市
平原真桜子

■渡波地区国道３９８号から石巻北部バイパスに通じる避難道路及び避難公園建設に関する要望

（提出者）
渡波・鹿妻地区避難道路建設促進発起人会
代表　内海　源助

第４回臨時会
起立採決のあった議案に対する各議員の賛否

議席番号	氏名	石巻市議会議員定数条例
1	阿部　久一	×
2	丹野　　清	×
3	阿部　純孝	×
4	黒須　光男	○
6	髙橋　左文	×
7	山口荘一郎	×
8	大森　秀一	×
10	水澤冨士江	×
11	阿部欽一郎	×
12	安倍　太郎	×
13	遠藤　宏昭	×
14	千田　直人	×
15	櫻田　誠子	×
16	渡辺　拓朗	×
17	千葉　眞良	×
18	阿部　正敏	×
19	青山　久栄	×
20	阿部　和芳	－
21	西條　正昭	×
22	庄司　慈明	×
23	石森　市雄	×
24	松川　惠一	×
25	森山　行輝	×
26	長倉　利一	×
27	伊藤　啓二	×
28	堀川　禎則	×
30	阿部　政昭	×
31	髙橋　栄一	×
32	後藤　兼位	×
33	髙橋　誠志	×
34	阿部　仁州	×
賛　　成		1
反　　対		29

※○：賛成、×：反対
※阿部和芳議員は議長であるため採決には加わりません。

提出された陳情

第４回臨時会に提出された陳情は次の１件です。

議員全員へ参考回付しました

■石巻市議会議員の定数削減を求める要望

（提出者）
石巻維新の会　代表　菅原　牧夫

第４回臨時会に提出された議案と審議結果

（平成24年８月２日開催）

その他（承認）

・専決処分の報告並びにその承認を求めることについて
（平成24年度石巻市一般会計補正予算）
（原案可決）

・工事請負の契約締結について
（石巻工業港曽波神線道路新設工事）
（23年災泊漁港Ａ防波堤ほか災害復旧工事）

条　　例（否決）

・石巻市議会議員定数条例

直接請求（議員定数26人）による
石巻市議会議員定数条例を否決

石巻市議会では、平成22年９月22日に議員定数等調査検討特別委員会を設置し、適正な議員定数のあり方について調査研究を重ね、本年６月に開催された第２回定例会において、次期市議選から議員定数を現行34人から４人減の30人とする条例を制定しておりました。

今回、市民団体「石巻維新の会」より、市民の署名を集めて議員定数を26人とするさらなる削減を求める直接請求が提出されました。

本会議における審議では、「石巻市の人口は減少していることもあり、議員自ら率先してさらなる議員定数削減をすべきである」との請求者の趣旨に賛同する旨の賛成討論と、「市民意見として真摯に受け止めたいが、公費削減だけで全ての問題が解決するわけではなく、今は市民の声を届け、反映させ、一日も早い震災復興に取り組むべきであり、さらなる削減は時期尚早」との反対討論が行われ、起立採決の結果、反対多数で否決されました。

▲賛成討論をする
黒須光男議員

▼反対討論をする
長倉利一議員